

# 中部プラスチックリサイクル協同組合 事業報告書

事業名 令和6年 新春講演会 賀詞交歓会

担当・出席者 名古屋ビニール分科会（分科会長：石神理事）・総会33名 懇親会33名

開催日時・場所 令和6年1月7日（日）・名鉄グランドホテル

新春講演会 「プラスチックリサイクル現状と課題」  
公益社団法人 日本容器包装リサイクル協会 副部長 清水健太郎 様

内容  
担当所見

昨年は、新型コロナウイルス感染症5類へ移行し自粛ムードがようやく収まり各地で学校行事やイベントなど元の姿を取り戻す中、当組合も昨年よりも多くの方にお集まり頂きまして新春講演会・賀詞交換会を開催させていただきました。

新春講演会で、清水先生には容器リサイクル法に基づく国の方向性やプラスチック資源循環促進法に基づく、廃棄物の適正処理及び資源の有効利用の確保並びにプラスチックに係る資源循環の促進として新しく製品プラスチックの回収事例など、当組合にとりましても今後大きなチャンスが来ていると非常にポジティブで活気のある新春講演会となりました。

賀詞交換会では新型コロナウイルスも明け33名の方にご参加いただきました。新春の理事長挨拶では磯野理事長より冒頭では、「1月1日16時06分に起こった能登半島地震への追悼と辰年とは万物が振動する年とお話や、業界内では当組合として大きな追い風が吹いている貴重な材料に付加価値をつけよう！」と力強いお言葉を頂きました。また恒例の皆様一言ご挨拶では組合員皆様の今年の抱負や展望、会社の抱える悩み、またプライベートな事もみんなで共有し今年1年乗り越えていく決意が感じられ会員交流が図られました。

